

BOM for Windows Ver.5.0 SR4

RUP 2015.03.03 リリースノート

Copyright © 2015 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.

このドキュメントでは、BOM 5.0 SR4 RUP 2015.03.03 の仕様変更、不具合修正の各内容について、ご案内しています。

なお、2015 年 3 月現在までに公開済みの BOM for Windows Ver.5.0 SR4 および各種製品の修正モジュールを同梱しております。

■ ■ 不具合修正 ■ ■	3
1. 「致命的なエラーが発生したためサービスを継続できません」のエラーが出力された際、正常に監視が終了せず、かつ監視サービスを停止出来ない不具合を修正	3
2. BOM Helper サービスを停止又は再起動時に正常に終了することができない不具合を修正	3

■ ■ 公開済みモジュール ■ ■	3
1. 監視対象のテキストログがオープン状態のまま連続書き込みを行っていた場合、検知の遅延回避を行うロジックを修正	3
2. 監視対象のテキストログがシフト形式だった場合、正しく監視ができていない不具合を修正	3
3. イベントログ監視(Vista,Server 2008 以降)を使用した際の内部処理2点を修正	4
4. 代理監視時に監視が失敗していた不具合を修正	4
5. イベントログ監視(Vista,Server 2008 以降)を使用した際、特定条件下で CPU が高負荷となる不具合を修正	4
6. 監視対象のイベントログの EventRecordID が約 42 億件を超えていた場合正常に監視できない不具合を修正	4
7. 集中監視コンソールのアクションにて発生していた不具合 2 点を修正	4
8. 集中監視コンソールのアクション項目で状態変化が発生した際にアクションが正しく動作していなかった不具合を修正	4
9. CSVImporter を使用しアーカイブをおこなう際の不具合 3 点を修正	5
10. サーバー診断レポートを出力した際、正しい結果が反映されていない不具合を修正	5
11. SUSE11 SP2 に対応	5
12. Oracle 監視(表領域の使用容量・使用率)の仕様変更	5
13. ESXi 5.1 に対応	5
14. ESXi 5.5 に対応	5
15. OpenSSL 脆弱性(CVE-2014-0224)に対応	5
16. VMware (ESXi)を監視対象とした場合、通信部分を強制的に終了させていた不具合を修正	5
17. SSL 3.0 脆弱性(CVE-2014-3566)に対応	6

■■ 更新履歴 ■■

- 2008年03月18日 BOM for Windows Ver.5.0 アップデートパッチ公開
- 2008年07月01日 BOM for Windows Ver.5.0 イベントログ監視 修正モジュール公開
- 2008年08月09日 BOM for Windows Ver.5.0SR1 リリース
- 2009年02月 BOM for Windows Ver.5.0SR2 リリース
- 2009年07月 監視オプション for Linux Ver.5.0 をリリース
- 2009年10月 サーバー診断レポートオプション Ver.5.0 をリリース
- 2010年03月 BOM for Windows Ver.5.0SR3 リリース
- 2012年01月 BOM for Windows Ver.5.0SR4/監視オプション for VMware リリース
- 2015年03月 BOM for Windows Ver.5.0SR4 RUP 2015.03.03 リリース

■ ■ 不具合修正 ■ ■

この RUP を適用することで修正される項目です。過去にリリース済みの修正モジュールなどには含まれておりません。

1.「致命的なエラーが発生したためサービスを継続できません」のエラーが出力された際、正常に監視が終了せず、かつ監視サービスを停止出来ない不具合を修正

- 監視実行中若しくは、監視結果をBOM内部DBへ反映しようとした際、致命的なエラーが発生し、監視が正常に終了しない事象が発生していました。また、致命的なエラーが発生した状況下で、監視サービスを正常に終了することができない事象が発生していました。
- 致命的なエラーが発生した場合、監視を正常に終了させるよう修正しました。

2.BOM Helper サービスを停止又は再起動時に正常に終了することができない不具合を修正

- BOM Helper サービスを停止又は、再起動を行おうとした際、BOM 内部で不正な処理が行われ、正常に終了することができない事象が発生していました。
- 不正な処理となるロジックを改良しました。

■ ■ 公開済みモジュール ■ ■

下記の内容は Web サイトなどで公開済みの修正モジュールで修正済みの内容です。

BOM 5.0 SR4 RUP 2015.03.03 ではこれらのすべてを含んでおり、個別に修正モジュールを適用する必要はありません。

下のいずれかの内容に対応する修正モジュールを適用済みの環境に BOM 5.0 SR4 RUP 2015.03.03 を適用した場合、未適用の修正モジュールを自動で判断しすべての修正モジュールが適用された状態となる様インストールが実行されます。

1.監視対象のテキストログがオープン状態のまま連続書き込みを行っていた場合、検知の遅延回避を行うロジックを修正

- ファイル情報の取得 API を変更しました。
- EOF を含む行は、次回監視時に監視を行う様変更しました。
下記のケースでは、今回の監視時に監視しません。
 - 前回監視と今回監視のファイル日付が違う場合
 - 前回監視と今回監視のファイルサイズが違う場合
 - チェック開始位置をリセットした場合
 - EOF を含む行のシーク位置が監視開始時のファイルサイズより大きい場合
- 2013 年 1 月 08 日公開:BOM for Windows Ver.5.0 SR3/SR4 向け テキストログ監視 修正モジュール(公開終了)

2.監視対象のテキストログがシフト形式だった場合、正しく監視ができていない不具合を修正

- 監視対象のログファイルがローテーションされたときに、ローテーション前のログファイルおよび、新しく作成されたログファイル両方を読み込んで総行数として返却していた不具合を修正しました。
- 2013 年 10 月 07 日公開:BOM for Windows Ver.5.0 / 6.0 向け テキストログ監視 修正モジュール

3. イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) を使用した際の内部処理2点を修正

- 除外指定を行った際、監視の実行時間が増加することがあり、監視実行時のイベントソース検索方法を改善しました。
- サービス起動時にエラーコード: 0x80070006 等で監視に失敗した時、リトライ処理を組み込み、ロジックを改善しました。
- 2013 年 6 月 26 日公開: BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) 修正モジュール

4. 代理監視時に監視が失敗していた不具合を修正

- 代理監視先と代理監視元で「アプリケーションとサービスログ」配下に同じエントリが存在しない場合監視が失敗していた不具合を修正しました。
- 2013 年 7 月 11 日公開: BOM for Windows Ver.5.0 SR3～SR4 向け イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) 修正モジュール

5. イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) を使用した際、特定条件下で CPU が高負荷となる不具合を修正

- イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) を使用した際、以下の特定条件下で CPU が高負荷となる不具合を修正しました。
 - [イベント説明のテキスト検索] タブで [イベント説明のテキスト検索] の条件を指定している
 - [イベント説明のテキスト検索] タブの検索条件には一致しないイベントログが連続して大量に登録されている
- 2013 年 12 月 26 日公開: BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) 修正モジュール

6. 監視対象のイベントログの EventRecordID が約 42 億件を超えていた場合正常に監視できない不具合を修正

- Windows のイベントログ内にある EventRecordID の値が、「4,294,967,295」(約 42 億) を超えていた場合、正常に監視が行えず誤った監視結果を返していた不具合を修正しました。
- 2014 年 5 月 19 日公開: BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け イベントログ監視 (Vista, Server 2008 以降) 修正モジュール

7. 集中監視コンソールのアクションにて発生していた不具合 2 点を修正

- 集中監視コンソールのカスタムアクションの設定で、任意のプログラムを指定し引数に「”」ダブルクォーテーションを含む内容を設定した後、新規インスタンスを追加すると、引数の「”」が「¥」に変換され、カスタムアクションが正常に実行できなくなる不具合を修正しました。
- カスタムアクションを 2 つ以上登録した状態から、1 つ目のカスタムアクションを削除した後、監視対象インスタンスを追加すると、2 つ目以降のカスタムアクションが全て削除されてしまうことがある不具合を修正しました。
- 2012 年 6 月 21 日公開: BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け 集中監視コンソール 修正モジュール

8. 集中監視コンソールのアクション項目で状態変化が発生した際にアクションが正しく動作していなかった不具合を修正

- 実行対象となるグループの複数インスタンスで同時に状態変化が起きた場合にまれに発生する可能性がある一部のアクションが実行されない不具合を修正しました。
- 2014 年 2 月 17 日公開: BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け 集中監視コンソール 修正モジュール

9.CSVImporter を使用しアーカイブをおこなう際の不具合 3 点を修正

- bom_archive_sysinfo.csv, bom_archive_performance.csv ファイルの読み込みを ASCII モードで行っており、データが正しくインポートできなかった不具合を修正しました。
- データに 16 進で 1a を含むデータ(たとえば「会」など)が存在した場合、EOF(ファイルの終わりをしめていた)と扱われ、それ以降のデータの読み込みが行われていなかった不具合を修正しました。
- インポート対象のアーカイブデータに、カンマを含まず2つ以上のダブルクォートが含まれているデータが存在する場合、データの欠損が発生する不具合を修正しました。
- 2014 年 7 月 25 日公開:BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け CSV インポーター修正モジュール

10.サーバー診断レポートを出力した際、正しい結果が反映されていない不具合を修正

- 「サマリーシート」のネットワーク診断結果 IN/OUT 損失ロジックの不具合により、対象期間内の平均値が表示されていなかった不具合を修正。
- 「過去比較情報シート」のネットワーク診断結果 IN/OUT 損失 最大値ロジックの不具合により、出力対象期間内の増分最大値をベースに計算せず、正しい値を表示していなかった不具合を修正。
- 2012 年 6 月 21 日公開:BOM for Windows Ver.5.0 SR4 向け レポートオプション修正モジュール

11.SUSE11 SP2 に対応

- SUSE11 SP2 に対応しました。
- 2013 年 6 月 26 日公開:監視拡張オプション for Linux Ver.5.0 SR4 用 SUSE11 SP2 対応モジュール

12.Oracle 監視(表領域の使用容量・使用率)の仕様変更

- Oracle11g のテーブルスペース「TEMP」を監視対象とした場合、以下の値から取得するように変更
ビュー名 :DBA_TEMP_FREE_SPACE
列 :FREE_SPACE。
- 2014 年 1 月 6 日公開:監視オプション for Oracle Ver.5.0 向け Oracle 監視(表領域の使用容量・使用率)仕様変更修正モジュール

13.ESXi 5.1 に対応

- ESXi 5.1 に対応しました。
- 2012 年 11 月 30 日公開:BOM for Windows Ver.5.0 SR4 監視オプション for VMware 向け ESXi 5.1 対応モジュール

14.ESXi 5.5 に対応

- ESXi 5.5 に対応しました。
- 2014 年 2 月 19 日公開:監視オプション for VMware Ver.5.0 ESXi 5.5 対応アップデートモジュール

15.OpenSSL 脆弱性(CVE-2014-0224)に対応

- BOM で使用している OpenSSL のバージョンを「0.9.8o」から「0.9.8za」へ変更しました。
- 2014 年 6 月 13 日公開:OpenSSL 脆弱性(CVE-2014-0224)に対応した修正モジュール

16.VMware(ESXi)を監視対象とした場合、通信部分を強制的に終了させていた不具合を修正

- VMware(ESXi)を監視対象とした場合、内部処理で通信部分を強制的に終了させ BOM の監視モジュールがアプリケーションクラッシュをおこし、正常に監視が継続できない事象を修正しました。
- 2015 年 1 月 30 日公開:監視オプション for VMware Ver.5.0 SR4 用修正モジュール

17.SSL 3.0 脆弱性(CVE-2014-3566)に対応

- SSLv3 プロトコルを無効化
 - BOM ヘルパーサービス :TLS1 でのみ接続
 - VMware 監視 :TLS1 でのみ接続
- 2014 年 11 月 18 日公開:SSL 3.0 脆弱性(CVE-2014-3566)に対応したモジュール

Copyright © 2015 SAY Technologies, Inc. All rights reserved.